

橿原市一般廃棄物処理施設長期包括運営委託事業者選定委員会 議事録

会議名	第五回 橿原市一般廃棄物処理施設長期包括運営委託事業者選定委員会
開催日時	令和5年12月1日(金) 午後1:30~2:30
開催場所	クリーンセンターかしはら 3階 研修室
出席委員	荒井委員、安田委員、堀内委員、高橋委員 以上4名
欠席委員	荒川委員
事務局	環境部：広瀬副部長、新田副部長 環境政策課：吉川(光)課長、西村課長補佐、梶井係長、吉村主査、中本主査 環境施設課：吉川(善)課長、小山係長、寺西主査、藤田主査 資源循環課：瀬尾課長、塩野副統括
次第	1. 開会 2. 報告事項 (1) 第四回委員会議事録の確認 (2) これまでの経過について 3. 審議事項 (1) 審査講評について 4. 確認事項 5. 閉会 <u>(配布資料)</u> 次第 【資料1-1】 クリーンセンターかしはら[CC] 審査講評(案) 【資料1-2】 リサイクル館かしはら[RC] 審査講評(案)
会議の公開/非公開	非公開
担当部署 (事務局)	環境部 環境政策課 〒634-8586 奈良県橿原市八木町1-1-18 TEL: 0744-47-3511 / FAX: 0744-24-9716 E-mail: kankyoseisaku@city.kashihara.nara.jp

次第1：開会

事務局より、委員会開会を宣言。

会長より、委員会開会にあたっての挨拶。

次第2：報告事項

○ 第四回委員会議事録の確認

第四回委員会議事録案について、事務局より報告。

[委員一同]

議事録案について了承。

○ これまでの経過について

これまでの経過について、事務局より報告。

<以下、本議題における質疑内容>

(委員)

クリーンセンターの審査講評は公表しないということだが、(株)タクマに対する審査結果の通知はどのように行ったのか。

(事務局)

11月15日付けで今回の入札が無効になった旨の連絡をしました。入札結果は不落になったと公表しています。

(委員)

審査結果については(株)タクマに通知しておらず、次回事業者選定への影響を考慮して審査講評は公表しないという理解でよいか。

(事務局)

ご理解のとおりです。

(委員)

(株)タクマが資格停止となった経緯を教えてください。

(事務局)

(株)タクマは東京都内の清掃工場で労働災害を起こしたため、令和5年10月に東京二十三区清掃一部事務組合が同社に対して指名停止措置をとりました。これを受けて、奈良県、続いて本市においても停止措置をとりました。これにより(株)タクマは入札参加資格を欠くこととなり、入札結果は無効となりました。

(委員)

今回の件を受けて(株)タクマは全国的に見て一律に停止措置を受けているのか。

(事務局)

全国すべてを調べたわけではありませんが、近隣の県、市町村で停止措置を受けていることは確認しています。

(委員)

停止措置をしていないところもあるのか。

(事務局)

(株)タクマが事業者登録しているかどうかは不明であり、確認が取れていません。

(委員)

停止措置はそれぞれの市町村の基準によって行われているのか。

(事務局)

そのとおりです。橿原市では安全管理措置が不適切だったということで入札参加資格停止措置を受けています。

次第3：審議事項

○ 審査講評について

資料1-1、1-2を用いて事務局より説明

<以下、本議題における質疑内容>

(委員)

クリーンセンターの価格点について、配点30点に対してそれほど得点が高くない、金額が安くないというのは市としてどのように評価しているか。

(事務局)

今回(株)タクマが入札した金額はインセンティブ分界価格と限度額の間ぐらいであり、結果としては妥当と認識しています。

(委員)

次回事業者選定であらためて審査することになると思うが、総評の中で特記している3項目は、次回事業者選定の参考にするということでよいか。

(事務局)

ご理解のとおりです。

(委員)

評価が低かった事項について2箇所コメントを記載しているが、どのような基準なのか。

また、感想としては、作成が大変かもしれないが、提案書に投資金額を記載する様式を設けて資金計画との対照がしやすいようになっていると、計画と提案のつながりが把握しやすいように思う。

(事務局)

非価格要素について、評価が低かった事項としてコメントを付した基準としては、得点が配点の半分を下回った場合について特記しました。ご提案いただいた件は前向きに検討し、次回に向けて準備を進めたいと思います。また、第4回委員会で意見のあったSPCと代表企業・構成企業との会計上の関係の整理についても改善したいと考えています。

(委員)

税理士、会計士の方からは、設備投資計画が全くないと言われる。事業の性質上やむを得ないところがあるが、年間計画、中期計画で機器を交換しているため、そのあたりがわかるようにしたらいいのではないか。

(事務局)

ご意見を踏まえて改善していきたいと思います。

(委員)

非価格要素については、得点が配点の半分を下回る点数となった項目についてコメントを加えたということか。

(事務局)

ご理解のとおりです。リサイクル館の5-1、5-5に関してアクアソリューション(株)[C者]の得点が配点の半分を下回るためコメントを記載しています。

(委員)

アクアソリューション(株)の非価格要素の合計点が42点以下になったのは積み重ねではあるけども、提案の精査が特に不足していることから、得点が配点の半分を下回った項目に対してコメントを特記したという理解で良いか。また、来年度実施する事業者選定に際しても同じ考えであるか。

(事務局)

基本的には同じと考えています。

(委員)

クリーンセンターの審査講評について、第4回委員会直後に入札参加資格が停止されている。今回第5回委員会が開催されたが、時系列との整合をうまく整理できればと思う。

また、審査講評の最後の一文で落札者との記載があるが、今日、選定委員会が開かれているというのは公開されている。会議の内容は非公表だが、事務局の見解を聞きたい。

(事務局)

審査講評は11月2日までの審査の結果を取りまとめたものですので、その前提のもとでご審議をお願いします。クリーンセンターの審査講評は公表しませんが、リサイクル館の審査講評については、本日委員のみなさまより受けたご意見も踏まえて最終的に公表します。

(委員)

(株)タクマが停止措置に至る理由は口頭でしか聞いていないため、何らかの形で整理しておいた方がいいのではないかと。

(事務局)

経緯は審査講評とは別に整理して、委員の皆様にお知らせいたします。

(委員)

提案内容の評価について、数値化しやすいものは分かりやすいのでよいが、数値化しにくいものについて、判断しやすい基準を決めてもらうとよいのではないかと。

また、価格評価点については、複数社による競争が行われないと得点が低くなるため、難しいとは思いますが、できれば複数社の参加があるよう努力をしてもらいたい。

(事務局)

採点しやすいように工夫したいと思います。

今回の入札では、できるだけ門戸を広げるような説明をしましたが、来年度の入札においては少しでも多くの業者が参加できるよう工夫します。

(委員)

複数社いると相対的な評価になるところもある。競争がないから低いところに落ち着いたというのはある。複数者参加してくれればよいとは思いますが、最近、独立系の会社があまり出てこなくなった。リサイクルは技術的な縛りがないが、焼却は技術的な縛りがある。なかなか参加しにくいという特性はあるが、努力してもらいたい。

(事務局)

改善に努めます。

[委員一同]

各審査講評案について了承。

次第4：確認事項

事務局より説明。

- ・リサイクル館は落札者と事業契約締結に向けて手続きを進める。クリーンセンターは来年度あらためて事業者選定を行う。
- ・第Ⅱ期事業の事業者選定に関する議事録は、来年度にクリーンセンターの落札者が決定するまでは公表しない。
- ・来年度行うクリーンセンターの事業者選定において、本委員会の委員には引き続き委員をお願いしたい。

[委員一同]

説明内容について疑義なく了承。

榎原市長より御礼の挨拶。

次第5：閉会

会長の閉会宣言により、閉会。